

第16期 図書館運営3か年計画

2022－2024

(令和4年度～令和6年度)

置戸町立図書館

1. 第16期計画の策定にあたって

(はじめに)

現図書館は、平成17(2005)年1月18日、生涯学習情報センターとして開館し、その後10年を経て平成27年4月に「置戸町立図書館」に名称を戻し、地域の図書館として志を新たに再出発して現在に至ります。

図書館運営計画は、旧図書館時代の昭和46(1971)年に第一期計画が策定されました。開館当初に掲げた「全域サービス」「貸出サービス」「児童サービス」は当時公共図書館の基本的かつ最も重要な機能とされたものであり、その指針に基づいた図書館運営を進めると同時に、地域固有の課題に向き合うことに努め、小さな町の図書館としての役割を果たす努力を続けてきました。

一時期、施設の名称は変わりましたが、図書館運営計画は旧図書館時代から現在までを通算し、今期は第16期となります。3年ごとに今後3年間の重点課題を精査し取り組んできたものです。

(第15期計画の3年間)

本計画に先立つ第15期計画は、令和の時代の始まりの3年間でした。この3年間は、2020年2月に始まった新型コロナウイルス感染症拡大とその対応の影響を受け、これまでに経験したことのない不測の事態のなか、置戸町全体はもちろん、図書館運営のあらゆる面に様々な制約が生じました。

緊急事態宣言の発令によって公共施設は一律休館を余儀なくされ、図書館も急きょ休館という事態が複数回にわたって生じました。人が集まることや飲食を伴う催しの自粛が求められ、「図書館まつり」は2年連続で休止、その他の事業も十分に取り組むことができませんでした。

それでも、そんな状況下でできることを工夫し、休館中の予約対応のPRやお任せセットの貸出し、宅配サービスの再周知などを行いました。古本市は規模を縮小して複数回に分けて実施し、屋外での読み聞かせパフォーマンスや、10年ぶりの落語高座、ミニコンサート、更に、令和3年度には新たな試みとして、飲食店とコラボした「本とランチのテイクアウト事業」に取り組みました。

令和3年度、町の「ふるさと応援寄付金」に「図書資料整備事業」が明示され、17件292,000円の寄付が寄せられました。町内外からの図書館への期待と応援と受け止め、それに応えていく姿勢が求められます。

14期中の平成29年度から手がけられ、15期計画で新規の重点目標に掲げられた「地域資料のデジタル化」事業は、貴重資料を新たなメディアで保存するべく専任の専門員を中心に作業が進められ、その一部をWEB公開するなど一定の到達を見ることができました。しかし専任体制は令和2年度までとなり、その後の作業と活用は部分的なものに留まっています。

近年の図書館の職員体制は万全とは言えず、なかでも館長職が平成30年4

月より社会教育課長と兼務となり、施設に館長がいない状態が続きましたが、令和2年10月より専任館長体制に戻ることができたのは大きな要素です。

また、歴史ある置戸町立図書館の運営には司書の複数配置も重要要件です。新たな試みを進める“攻めの図書館”運営を展開するためにも、司書有資格者の採用を含め、複数体制を求めていくことが必要です。

もうひとつ、15期計画中の出来事として、資料費の減額にふれなくてはなりません。現図書館が開館した平成17年度以来、図書購入費は850万円を維持し、毎年約5000冊の本を購入してきました。しかし令和3年度予算より700万円に減額され、購入可能冊数は1000冊減の4000冊程度となりました。また、図書購入費とは別予算の雑誌・新聞購入費も令和3年度より減額、新聞は全国紙1紙減、雑誌は90誌から10誌程度を減らさざるを得なくなっています。このことは、今期以降の計画にも大きな影響を及ぼします。今後の利用状況の変化をしっかりとらえることが必要です。

(反省評価と課題)

平成17年1月の現図書館の開館以来の総貸出冊数は、開館初年度の8万冊超をピークに、7万冊台、6万冊台、5万冊台と減少を続け、令和元年度には4万冊台となりました。令和元年度からの3年間、個人貸出冊数はほぼ横ばいで、コロナ禍での臨時休館は、貸出冊数にはそれほど影響を及ぼしていません。これは、1回あたりに借りる冊数を増やすことで、来館を控えたり急な休館に備える利用者意識によるところが大きかったと推察されます。

緊急事態宣言の発令等による臨時休館日数は、令和元年度で20日間(3月)、2年度で25日間(4～5月)、3年度は40日間(5～6月と1月の2回)に及び、年間開館日数280日の7%から14%に当たります。

最初の休館以降、館内の座席数を減らし、滞在時間の短縮を呼びかけ、図書館でゆっくり過ごしてもらった従来の利用スタイルを変更したことは、来館者数と延べ利用人数の大幅減という形で現れ、館内でのDVD視聴も大きく減っています。コロナ禍の大きな影響を受けた3年間の図書館利用を従来と単純比較することはできません。しかし、コロナ禍のみに原因を帰するのでなく、全体的な利用減少の原因と課題を検証することも必要です。

置戸町立図書館の利用者は、置戸町民に限りません。貸出期間の2週間以内に返却することができれば、どこに住んでいても、町民と同様に貸出冊数制限なしに本や雑誌を借りることができます(DVDのみ町民限定)。このため、町外からの利用によって貸出総数や登録率が押し上げられている実態があります。統計数値から町外利用を除いてみると、1年間に図書館の本を利用した町民は、全人口の25%に届きません。

人口減少や高齢化が進んでいるのは事実ですが、その中でも、様々な理由で図書館を利用しづらいと感じている人・利用できないでいる人に、図書館に足を運んでもらうための工夫や取り組みが、改めて求められます。

(第16期計画の3年間)

令和4年3月時点においても、新型コロナウイルスの動きは予断を許さず、収束の時期は未だ見通すことができません。コロナ禍での「新しい生活スタイル」が浸透し、家で多くの時間を過ごすことに慣れ、来館される方の数は減ったままの状態が続いています。

16期計画の3年間では、改めて、この豊かな空間を地域のあらゆる世代の皆さんに気軽に訪れてもらえるよう、様々な工夫をしていきます。同時に、移動図書館車「やまびこ号」の運行を見直し、宅配サービスと共に「届けるサービス」の充実を図ります。

また、「調べもののお手伝い(=レファレンスサービス)」は、図書館の基本的かつ重要な機能の一つですが、その利用は一部に限られます。「図書館は、日頃の生活の中で感じたあらゆる疑問を調べ、解決するお手伝いをします」という役割を周知し、気軽に利用してもらうよう働きかけを進めます。

具体的な事業では、「子どもおはなし大会」が、令和4年度に通算50回となりますので、記念大会としての趣向を凝らした開催を検討します。

令和5(2023)年は、置戸町立図書館条例の制定から70年となる年です。図書館の歴史を振り返る記念事業の企画を進めます。

更に、15期計画中に十分取り組むことのできなかつた積み残し課題について、これ以上先送りせず形にしていくことが重要です。

具体的には、

- ① 「ファーストブックプレゼント」と「おけと子どものほんだな」をつなぐ就学前の子どもたちへの推薦絵本リスト「おけと絵本のほんだな」の策定
 - ② 学校図書室支援の充実～「ふくろう文庫」の再開および巡回司書との連携
 - ③ 「置戸の歴史を語る」の収録と活字化
- などが優先課題として挙げられます。

以上を踏まえて、「基本方針」・「重点目標」を下記のとおり設定します。

2、基本方針

置戸に暮らす人たちにとって、愛着を持って利用してもらえる図書館、暮らしに役立つ図書館となれるよう、町民を大切にしたい運営をめざします。

3、16期重点目標

- (1) 町民の生活や地域の課題解決に役立つ資料の充実を図る
- (2) 町民だれもが気軽に利用し、読書に親しめる環境の整備を進める
- (3) 移動図書館車の運行を見直し、全域サービスを再構築する
- (4) 住民の自主的な学習・創作活動を支援する

4. 資料の収集と管理

(1) 蔵書計画

・開館当初の収容能力は9万冊を想定しましたが、令和3年度末時点の蔵書冊数は約122,000冊となっています。

適切な除架・除籍を行い、見やすい書架の状態を保つよう努めます。

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
購入冊数	4,000冊	4,000冊	4,000冊
寄贈冊数	200冊	200冊	200冊
除籍冊数	4,200冊	4,200冊	4,200冊
蔵書冊数	122,000冊	122,000冊	122,000冊
資料購入費	7,000千円	7,000千円	7,000千円
内基金繰入金	2,000千円	2,000千円	2,000千円

・資料購入単価は、1,750円で推計

・図書購入費は令和2年度まで850万円、令和3年度から700万円に減額となり、購入予定冊数は年間5千冊から4千冊となる

・書籍の選択は「資料収集方針」に基づいて行うと共に、利用者からのリクエストに応え、地域や住民の暮らしに役立つ資料を積極的に収集する

(詳細は(3)の分類別購入計画による)

・除籍は「業務基準」に基づき実施する

・図書資料整備基金からの繰入れは、毎年度200万円を上限とする

(2) 資料の種類

(ア)書籍(一般図書)

(イ)地域資料

(ウ)逐次刊行物【新聞】

(エ)逐次刊行物【雑誌】

(オ)紙芝居

(カ)視聴覚資料

・地域資料は、町内で刊行された冊子や行政資料、置戸関連の新聞記事をはじめ、地域の生活や諸活動に関する物を広く収集保存し、活用に供する

・新聞は、令和3年度現在の6紙を維持する

(全国紙3紙、道内紙1紙、地元紙1紙、その他1紙)

・雑誌は、令和3年度現在の80タイトル以上を堅持し、利用の状況等に応じ収集タイトルの見直しを適宜行う

(3) 図書の分類別購入計画

[冊]

分 類	R4	R5	R6	今期計画 3ヶ年計	15期計画 3ヶ年計
K.H.郷土・北海道関係資料	10 (20)	10	10	30	45
0.総記	40 (60)	40	40	120	170
1.宗教・哲学・心理学	65 (100)	65	65	195	260
2.地理・歴史・伝記	180 (220)	180	180	540	605
3.政治・経済・福祉・教育	400 (470)	400	400	1,200	1,310
4.自然科学	240 (300)	240	240	720	855
5.工学・建築・家事・暮らし	300 (480)	300	300	900	1,340
6.産業・農林水産業	190 (210)	190	190	570	600
7.芸術・スポーツ・工芸	250 (390)	250	250	750	1,090
8.ことば	30 (40)	30	30	90	130
9.文学	930 (1170)	930	930	2,790	3,280
E.J.絵本・児童書	1,290 (1430)	1,290	1,290	3,870	4,000
PS.紙芝居	30 (30)	30	30	90	90
V.視聴覚資料	45 (80)	45	45	135	225
計	4,000 (5,000)	4,000	4,000	12,000	14,000

* 「()」は第15期初年度(R元)の数値

- ・児童書の購入は3割、文学は2割を目安とする

(4) 資料の管理

- ・日常的な配架・除架・除籍作業により、利用しやすい書架づくりに努める
- ・長期延滞本の督促の徹底を図る
- ・毎年、蔵書点検を実施する

5、運営上の指針

(1) 図書館利用の推進

- ・町内未利用者に対し、貸出利用はもとより、来館の働きかけを積極的に行う。
- ・集会行事や小規模な催しを通じて、図書館利用のPRを図る。
- ・「本の宅配」要領を見直し、柔軟な運用と再周知により、利用を推進する。
- ・移動図書館車（ブックモバイル）の有効な運行に向け、要望の聞き取りを行いステーションの見直しを進める。
- ・学校や子どもセンター等との連携を密にし、本館の団体利用を働きかける
- ・公民館や福祉センター、老人ホーム等との連携を図り、共催事業による図書館利用の働きかけを進める
- ・「生涯学習だより」やホームページにより積極的な情報発信を行う

(2) カウンター業務の充実

- ・本探しのお手伝いを積極的に行い、本と利用者をつなぐ役割を果たす
- ・調べもののお手伝い（＝レファレンスサービス）の周知と推進を図る

(3) 子どもの読書環境の整備

- ① 学校教諭、学校巡回司書との連携と学校図書室の支援
- ② 読書週間・読書月間事業の開催
- ③ 「おけとこどもの本だな」の普及
- ④ 「おけと絵本のほんだな」（幼児向け推薦リスト）の制定
- ⑤ おはなし会・子どもシアターの開催
- ⑥ 保育士、保健師、児童センター指導員等との連携
- ⑦ ファーストブックプレゼント・フォローアップ事業の実施

※平成29年度に3年次計画として策定された「置戸町子どもの読書活動推進計画」に掲げられた「基本目標・基本方針と具体的な取り組み」より、今期の検討必要課題として、以下の項目を再掲します

- ・家読（うちどく）の推奨
- ・読み聞かせボランティア育成
- ・調べもの学習の講座の実施

資 料

1. 計画の体系 (資料1-1 資料1-2)
2. 第11次社会教育5ヵ年計画抜粋
3. 図書館・生涯学習センター利用概況
4. 資料の購入計画・実績一覧

図書館の設置及び運営上の望ましい基準

文部科学省（2012）

市町村立図書館

1、管理運営

(一) 基本運営方針及び事業計画

- ・基本的な運営方針の策定及び公表
- ・目標を設定し事業年度ごとの事業計画の策定及び公表

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

- ・目標及び事業計画の達成状況等に関し点検及び評価
- ・図書館協議会、その他の関係者による評価、公表
- ・点検、評価に基づく運営の改善、公表

(三) 広報活動及び情報公開

(四) 開館日時等

- ・地域の実情に配慮した開館日・開館時間、適切な周期による移動図書館の運行

(五) 図書館協議会

- ・図書館協議会の設置による利用者、住民の要望の反映
- ・図書館協議会委員に多様な人材の参画

(六) 施設・設備

- ・サービスの水準を達成するための施設・設備の確保
- ・高齢者、障がい者、乳幼児と保護者、外国人その他が図書館施設が円滑に利用できる施設の整備

2、図書館資料

(一) 図書館資料の収集等

- ・資料の収集の方針策定、公表
- ・十分量の資料の計画的な整備、郷土資料、地方行政資料、新聞、視聴覚資料の整備、郷土資料の電子化

(二) 図書館資料の組織化

- ・図書館資料分類、配架、目録・索引の整備

3、図書館サービス

(一) 貸出サービス等

- ・貸出サービスの充実、予約制度や複写サービスの運用

(二) 情報サービス

- ・レファレンスサービスの充実、レファレルサービスの実施

(三) 地域の課題に対応したサービス

(四) 利用者に対応したサービス

(五) 多様な学習機会の提供

(六) ボランティア活動等の推進

4、職員

(一) 職員の配置等

- ・館長は司書資格者が望ましい
- ・司書、司書補の確保

(二) 職員の研修

公立図書館の任務と目標

日本図書館協会（2004改訂）

市町村立図書館

図書館サービス・・・住民の求める資料や情報を提供する

- 1、図書館サービスの基礎を築くのは貸出
- 2、集会行事を行うとともに図書館機能の宣伝、普及、利用案内を行う
- 3、学校図書館との連携をすすめ、児童生徒に対し利用案内を行うとともに求めに応じて学校における学習や読書を支援する
- 4、高齢者の資料、施設、設備、機材の整備充実ときめこまかなサービスの提供
- 5、障害者等の図書館利用の権利の保障
- 6、在日外国人等に対し有効なサービスを行う
- 7、住民が利用しやすい開館日、時間の設定
- 8、フロアサービス、レファレンスサービスを行う
- 9、所蔵をしていない資料も含めて予約できる体制を整える
- 10、求めに応じて団体や施設に対して貸出を行う
- 11、資料提供の一環として複写サービスを行う
- 12、住民の自主的な学習活動を援助するために集会機能をもつ
- 13、外部ネットワークの情報資源へ自由にアクセスできる環境を整備する
- 14、日常の問題解決に役立つ図書を備える
- 15、住民の関心に沿って、幅広く多用な雑誌を選んで備える
- 16、視聴覚障害者のための資料の収集に努める
- 17、地域に関する資料や情報の収集・提供に努める
- 18、所蔵資料が一元的に検索できるよう目録を整備する
- 19、住民の要求する資料を必ず提供するため、各市町村図書館が相互に協力しあう

図書館システム整備のための数値基準

6,900人

延床面積	1,080㎡
蔵書冊数	67,270冊
開架冊数	48,906冊
資料費	10,000千円
年間増加冊数	5,574冊
職員数	6人

これからの図書館の在り方

これからの図書館の在り方検討協力会議（2012）

1、これからの図書館像

(1) 図書館活動の基本的在り方

- ・出版物とともに電子情報の発信、保存もこれからの図書館の役割

(2) 図書館政策の在り方

- ・地域の課題解決
- ・教育政策、生涯学習政策のなかでの図書館運営の方向性、まちづくりや地域の振興

(3) 課題解決支援・情報提供機能の充実

- ・学習機会の提供

(4) 電子情報の利用によるハイブリッド図書館の整備

- ・印刷資料と電子資料の両方を統合して利用できる図書館（ハイブリッド図書館）へ
- ・インターネット環境の整備

2、これからの図書館サービスの在り方

(1) レファレンスサービス

- ・貸出とレファレンスのバランス
- ・地域の課題解決

(2) 専門的情報の提供

- ・広範な主題の専門情報の提供

(3) 閲覧・貸出・リクエストサービス

- ・基礎的な図書館サービスとして充実させる必要性

(4) 児童・青少年サービス

- ・児童サービス、読み聞かせの重要性
- ・ヤングアダルトサービス
- ・図書館利用教育

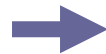
(5) 障がい者・高齢者・多文化サービス

- ・図書館職員全員の理解

(6) 図書館資料の整備と提供

- ・一定の資料費の確保、雑誌、地域資料の重要性

置戸町立図書館条例



置戸町立図書館基本計画 (平成13年策定)

基本構想

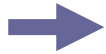
- 1、本と出会う喜びや楽しみを実感できる図書館をめざします
(豊富で新鮮な資料の提供に努める図書館)
- 2、日々の暮らしに役立つ図書館をめざします
(地域の暮らしと密着し、生産課題や生活課題に応え得る図書館)
- 3、だれもが気軽に訪れることのできる、「本のあるひろば」としての図書館をめざします
(「個人」と「人の交流」双方を大切にする、多様な生涯学習の場としての図書館)
- 4、住民と共に成長する図書館を目指します
(その豊かな可能性を、住民相互と職員との協働作業で創造する図書館)

8つの目標 (基本方針)

- ① 貸出をサービスの基本とする
- ② だれでも利用できる開かれた図書館とする
- ③ 子どもを大切にした運営とする
- ④ お年寄りや、からだの不自由な人を大切にする
- ⑤ 人と人のつながりを大切にする
- ⑥ 置戸の暮らしの過去・現在・未来を保存し、かつ提案する
- ⑦ 町民の自主的で多様な学習、創造活動を応援する
- ⑧ 生涯学習を支えるひろばとなる

サービス計画

- 1) 貸出サービスを基本にすえて
 - ・資料の充実
 - ・予約・リクエストサービス・読書案内の推進
 - ・レファレンスサービスの充実
- 2) 子どもの読書環境の充実に努める
 - ・保健師等との連携
 - ・良質で魅力的な資料の充実
 - ・読書環境の整備
 - ・学校との連携及び学校図書室の支援
- 3) 中学生・高校生、若者世代、お年寄り・・・だれにとっても居心地の良い、開かれた図書館であるために
 - ・気軽に立ち寄れる場の提供
 - ・魅力的な本や雑誌の収集と提供
 - ・集会室利用のへの柔軟・積極的な対応
 - ・大活字本や耳で楽しむ読書(=CD 等)の導入
 - ・ユニバーサルデザインの導入
- 4) 生活との結びつき～「暮らしに役立つ」ということ
 - ・商工、農林業関係者との連携を密にした資料収集と活用
 - ・地域産業の振興や地域課題への取り組みに寄与する資料の収集
 - ・多様な地域資料の収集、整理分類と保存
 - ・地域情報の記録・保存
- 5) 様々な資料の活用と収集
 - ・視聴覚資料と視聴機器の整備充実
 - ・IT 機器類の提供 (インターネット環境の整備)
- 6) 各種事業の開催
 - ・新規利用者開拓及び利用促進
- 7) 場の提供～生涯学習のひろばとして
 - ・施設利用の推進
 - ・学習、文化、創造活動の応援
 - ・情報交換と交流の場の提供
- 8) 人と人のつながりを大切にする
 - ・職員の資質、能力の向上
- 9) 届けるサービス (やまびこ号の運行)
 - ・きめ細やかな全域サービスの実現
 - ・交通弱者の方へのサービスの充実



社会教育5ヶ年計画



図書館運営3ヶ年計画

2. 第11次社会教育5ヶ年計画（2020～2024年度）（抜粋）

1) 社会教育目標

「つながりを大切にし、生涯を通して学びあい、彩りある暮らしと活力に満ちたふるさとをつくりましょう」

2) 基本方針

1. つながりを大切にし地域力を高め、思いやりと笑顔に満ちたふるさとづくりを進めます
2. 豊かな環境・資源を活かし、生産教育を通じて知識や技術を高め、活力ある地域づくりを進めます
3. 幅広い学びのなかで自己を高め、彩りある暮らしづくりを進めます

3) 重点目標

- ①おけとらしさを活かしながら、生涯にわたって学びあえる地域を目指します
- ②「本のあるみんなのひろば」として、地域の暮らしと密着した図書館活動を展開します
- ③地域の資源を活かし、モノづくりのまちとしての姿を継承し、豊かな暮らしを創造する生産教育を推進します
- ④誰もがいつでもいつまでもスポーツに親しみ、いきいきと活躍できるスポーツ活動を振興します
- ⑤地域や世代を超えたきずなを大切にし、ふるさとを愛する人づくりを推進します
- ⑥学びを支える社会教育施設の整備充実及び有効活用と職員体制の充実を図ります

〈 図書館 〉 重点目標2 「本のあるみんなのひろば」として、

地域の暮らしと密着した図書館活動を展開します

【現状と課題】

日本では、急速な少子高齢化の問題をはじめ、教育や福祉の問題、経済問題など多くの課題が山積しています。

このような中、置戸町においてはオホーツクの山あいにある小さな町の図書館として、どう地域と町民の生活に向き合い図書館運営をおこなっていくかが現状での課題となっています。

図書館化運営の理念としては昭和46年に策定した第1期図書館振興3か年計画策定以来の「小さな町であっても図書館として当たり前前の運営を当たり前におこなう」ということが前提としてあるいは基本としてあります。

具体的には貸出サービス（ここで言う貸出サービスには予約・リクエストサービスも含まれます）、全域サービス、児童サービスを図書館としての基本業務として展開します。その上で地域課題に向き合い、時代に求められる図書館運営を行うとい

うことが図書館としての基本方針です。

あらゆる年代に向けての開かれた形の図書館運営が基本ですが、人口比率の多い高齢者に向けてのサービスの充実はもとよりやや利用の少ない中学生、高校生等の若い人へに向けての働きかけも課題となっています。

過去の歴史を大切にし、そして新たな読書要求に応える事によって現在の生活に寄与し、未来を考える図書館であることが目標となります。

【基本施策】

- ① 地域文化を見つめ、町民の暮らしや地域の課題解決に役立つ資料の充実を図ります
 - ・暮らしに役立つ各分野の資料の収集と提供（特に地域課題としての福祉、農林業、工芸関係はやや厚く選書する）
 - ・行政資料の収集と保存
 - ・置戸関連の記事の収集と提供
 - ・インターネット利用の普及
 - ・予約サービス・レファレンスサービスの充実
 - ・地域資料のデジタル化と活用
- ② 町民誰もが読書に親しめる環境・機会の充実を図ります
 - ・ファーストブックプレゼントの実施及びその後の小学校入学前幼児を対象としたフォローアップ事業の検討・実施
 - ・「おけとこどもの本だな」の活用
 - ・学校図書室との連携
 - ・YA（ヤングアダルト）書籍の充実
 - ・認定こども園、放課後児童クラブ、高齢者福祉施設等との連携
 - ・高齢者の読書環境、大活字本の整備
 - ・心を豊かにする絵本・文芸等書籍の充実
 - ・DVD、音声資料の充実
 - ・特に高齢者、視聴覚障がい者が利用できる解説入りDVDの充実化
 - ・全域サービスとしてのやまびこ号ステーションの再編
 - ・団体利用の促進
- ③ 住民の自主的な学習・創作活動を支援します
 - ・ボランティア活動の奨励
 - ・持ち込み企画への支援
 - ・集会室の活用
 - ・講座、教室、研修会、絵本の読み聞かせ、映画会等の開催

3. 図書館・生涯学習情報センター利用概況

【基礎数値】	R3年度	R2年度	R元年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
①人口(R3.4.1現在)	2,733人	2,797人	2,872人	2,920人	2,999人	3,039人	3,093人	3,147人
②新規登録者数	118人 (町内74・町外44)	116人 (町内64・町外52)	95人 (町内34・町外61)	156人 (町内112・町外44)	101人 (町内65・町外36)	135人 (町内65・町外70)	154人 (町内77・町外77)	148人 (町内85・町外63)
③登録者総数	1,658人 (町内1,245・町外413)	1,633人 (町内1,207・町外426)	1,721人 (町内1,258・町外463)	2,299人 (町内1,642・町外657)	2,303人 (町内1,564・町外739)	2,224人 (町内1,506・町外719)	2,222人 (町内1,506・町外716)	2,876人 (町内1,918・町外958)
④延利用人数 ()内は本館・やまびこ号の内訳	8,162人 (本7,337・や825)	8,225人 (本7,515・や710)	9,325人 (本8,452・や873)	10,551人 (本9,752・や799)	10,338人 (本9,630・や708)	11,555人 (本10,656・や899)	11,003人 (本10,036・や967)	11,203人 (本10,325・や878)
⑤本館来館者数	10,436人	11,205人	15,805人	18,135人	18,380人	19,273人	18,843人	19,216人
⑥貸出冊数～個人利用分～ ()内は本館・やまびこ号の内訳	40,048冊 (本37,432・や2,616)	40,642冊 (本38,311・や2,331)	40,289冊 (本37,901・や2,388)	44,444冊 (本42,573・や1,871)	42,893冊 (本41,428・や1,465)	47,160冊 (本45,539・や1,621)	48,611冊 (本46,504・や2,107)	48,167冊 (本46,267・や1,900)
⑦団体貸出	7,722冊	8,990冊	9,288冊	9,988冊	9,409冊	10,406冊	10,795冊	10,657冊
⑧蔵書総数 (配架ごとの概数:開架一般書58,749・準開架24,223、 開架児童書22,285・準開架13,793 開架視聴覚2,222・準開架161)	121,433冊	122,127冊	122,156冊	120,828冊	120,753冊	120,348冊	120,380冊	122,724冊
⑨図書購入総数	4,029冊	5,078冊	5,145冊	5,311冊	5,251冊	5,070冊	5,135冊	5,100冊
⑩図書購入平均単価	1,827円	1,674円	1,651円	1,600円	1,617円	1,676円	1,655円	1,667円
⑪図書購入費(書籍および視聴覚資料)	7,359,862円	8,499,906円	8,496,643円	8,496,604円	8,494,908円	8,499,948円	8,499,996円	8,499,930円
⑫その他資料購入費(紙芝居・雑誌・新聞・追録)	1,040,538円	1,010,942円	1,135,092円	1,131,701円	1,114,000円	1,045,786円	1,085,287円	1,084,992円
⑬購読雑誌及び新聞	雑誌81誌 新聞5紙	雑誌82誌 新聞5紙	雑誌92誌 新聞6紙	雑誌92誌 新聞6紙	雑誌92誌 新聞7紙	雑誌91誌 新聞7紙	雑誌89誌 新聞7紙	雑誌89誌 新聞7紙
⑭本館開館日数	241日	253日	259日	277日	278日	279日	280日	277日
⑮やまびこ号巡回日数(ステーション数22ヶ所)	110日	121日	127日	143日	155日	154日	148日	153日

※平成27年4月図書館条例施行

1. 登録率(登録者数÷人口) (※町民登録率)	60.7% (45.6%)	58.4% (43.2%)	59.9% (43.7%)	78.7% (56.2%)	76.8% (52.2%)	73.2% (49.5%)	71.8% (48.7%)	91.3% (60.1%)
2. 住民一人当たりの貸出冊数(貸出冊数÷人口)	14.7冊	14.5冊	14.0冊	15.2冊	14.3冊	15.5冊	15.7冊	15.3冊
3. 登録者一人当たりの貸出冊数(貸出冊数÷登録者数)	24.2冊	24.9冊	23.4冊	19.3冊	18.6冊	21.2冊	21.9冊	16.7冊
4. 住民一人当たりの蔵書数(蔵書総数÷人口)	44.4冊	43.7冊	42.5冊	41.1冊	40.3冊	39.6冊	38.9冊	38.9冊
5. 住民一人当たりの資料購入費(図書購入費÷人口)	2,693円	3,039円	2,958円	2,910円	2,833円	2,797円	2,748円	2,701円
6. 奉仕見積り額(図書購入平均単価×貸出冊数)	73,167,696円	68,034,708円	66,517,139円	71,110,400円	69,390,990円	79,064,605円	80,421,205円	80,294,389円
7. 1日当たりの平均貸出冊数(貸出冊数÷稼働日数)								
1) 本館	155.3冊	151.4冊	146.3冊	153.7冊	149.0冊	163.2冊	166.0冊	167.0冊
2) やまびこ号	23.8冊	19.3冊	18.8冊	13.1冊	9.5冊	10.5冊	14.2冊	12.4冊
8. 1日当たりの平均利用人数(延人数÷稼働日数)								
1) 本館の来館者数	43.3人	44.3人	61.0人	65.5人	66.1人	69.1人	67.3人	69.4人
2) 本館の貸出利用者	30.4人	29.7人	32.6人	35.2人	34.6人	38.2人	35.8人	37.3人
3) やまびこ号の貸出利用者	7.5人	5.9人	6.9人	5.6人	4.6人	5.8人	6.5人	5.7人

【基礎数値】	H25年度	H24年度	H23年度	H22年度	H21年度	H20年度	H19年度	H18年度	H17年度
①人口	3,247 人	3,317 人	3,390 人	3,403 人	3,434 人	3,503 人	3,577 人	3,629 人	3,736 人
②新規登録者数	165 人 (町内86・町外79)	150 人 (町内82・町外68)	174 人 (町内102・町外72)	212 人 (町内101・町外111)	205 人 (町内106・町外99)	213 人 (町内120・町外93)	264 人 (町内155・町外109)	301 人 (町内169・町外132)	408 人 (町内250・町外158)
③登録者総数	2,818 人 (町内1,951・町外867)	2,668 人 (町内1,880・町外788)	2,548 人 (町内1,828・町外720)	2,420 人 (町内1,796・町外624)	2,210 人 (町内1,699・町外511)	2,164 人 (町内1,663・町外501)	2,191 人 (町内1,648・町外543)	2,094 人 (町内1,682・町外412)	1,956 人 (町内1,621・町外335)
④延利用人数	11,920 人 (本11,099・や821)	11,938 人 (本10,903・や1,035)	12,312 人 (本11,425・や887)	12,736 人 (本11,319・や1,417)	13,000 人 (本11,599・や1,401)	14,583 人 (本12,927・や1,656)	15,436 人 (本13,205・や2,231)	15,552 人 (本13,367・や2,185)	17,076 人 (本14,892・や2,184)
⑤本館来館者数	20,940 人	21,204 人	21,289 人	21,325 人	21,063 人	22,368 人	22,583 人	23,869 人	26,732 人
⑥貸出冊数～個人利用分～	53,117 冊 (本50,882・や2,235)	51,811 冊 (本48,576・や3,235)	54,763 冊 (本50,958・や3,805)	54,402 冊 (本49,763・や4,639)	54,230 冊 (本50,005・や4,225)	59,928 冊 (本53,989・や5,939)	64,739 冊 (本57,085・や7,654)	68,158 冊 (本60,276・や7,882)	74,261 冊 (本66,302・や7,959)
⑦団体貸出	11,041 冊	12,822 冊	12,066 冊	13,071 冊	14,546 冊	8,490 冊	9,812 冊	11,274 冊	10,560 冊
⑧蔵書総数	124,217 冊	122,083 冊	121,422 冊	116,022 冊	110,800 冊	105,208 冊	100,165 冊	95,090 冊	90,761 冊
⑨図書購入総数	5,336 冊	5,502 冊	5,260 冊	5,526 冊	5,393 冊	5,020 冊	5,539 冊	5,590 冊	7,691 冊
⑩図書購入平均単価	1,593 円	1,545 円	1,616 円	1,538 円	1,587 円	1,693 円	1,625 円	1,610 円	1,950 円
⑪図書購入費	8,499,976 円	8,499,784 円	8,499,940 円	8,499,996 円	8,559,947 円	8,499,981 円	8,999,967 円	8,999,862 円	14,999,589 円
⑫その他資料購入費	1,092,279 円	1,134,823 円	1,098,479 円	1,418,506 円	1,357,051 円	1,358,000 円	1,360,406 円	1,484,647 円	1,453,637 円
⑬購読雑誌及び新聞	雑誌89誌 新聞7紙	雑誌89誌 新聞7紙	雑誌86誌 新聞7紙	雑誌85誌 新聞7紙	雑誌96誌 新聞7紙	雑誌89誌 新聞7紙	雑誌92誌 新聞7紙	雑誌92誌 新聞7紙	雑誌90誌 新聞7紙
⑭本館開館日数	279 日	282 日	282 日	283 日	280 日	280 日	279 日	278 日	278 日
⑮やまびこ号巡回日数	160 日	158 日	148 日	155 日	152 日	142 日	120 日	117 日	126 日

※平成16年10月生涯学習情報センター条例施行

1. 登録率	86.8 %	80.4 %	75.2 %	71.1 %	64.4 %	61.8 %	61.3 %	57.7 %	52.4 %
(※町民登録率)	(60.0 %)	(56.7 %)	(53.9 %)	(52.8 %)	(49.5 %)	(47.5 %)	(46.1 %)	(46.3 %)	(43.4 %)
2. 住民一人当たりの貸出冊数	16.3 冊	15.6 冊	16.2 冊	15.9 冊	15.8 冊	17.1 冊	18.1 冊	18.8 冊	19.8 冊
3. 登録者一人当たりの貸出冊数	18.8 冊	19.4 冊	21.5 冊	22.4 冊	24.5 冊	27.7 冊	29.5 冊	32.5 冊	38.0 冊
4. 住民一人当たりの蔵書冊数	38.3 冊	36.8 冊	35.8 冊	34.1 冊	32.3 冊	30.0 冊	28.0 冊	26.2 冊	24.3 冊
5. 住民一人当たりの資料購入費	2,617 円	2,562 円	2,507 円	2,498 円	2,493 円	2,426 円	2,516 円	2,480 円	4,015 円
6. 奉仕見積り額	84,615,381 円	80,047,995 円	88,497,008 円	83,670,276 円	86,063,010 円	101,458,104 円	105,200,875 円	109,734,380 円	144,808,950 円
7. 1日当たりの平均貸出冊数									
1) 本館	182.4 冊	172.3 冊	180.7 冊	175.8 冊	178.6 冊	192.8 冊	204.6 冊	216.8 冊	238.5 冊
2) やまびこ号	14.0 冊	20.5 冊	25.7 冊	29.9 冊	27.8 冊	41.8 冊	63.8 冊	67.4 冊	63.2 冊
8. 1日当たりの平均利用人数									
1) 本館の来館者数	75.1 人	75.2 人	75.5 人	75.4 人	75.2 人	79.9 人	80.9 人	85.9 人	96.2 人
2) 本館の貸出利用者	39.8 人	38.8 人	40.5 人	40.0 人	41.4 人	46.2 人	47.3 人	48.1 人	53.6 人
3) やまびこ号の貸出利用者	5.1 人	6.6 人	9.1 人	9.2 人	11.7 人	18.6 人	18.7 人	17.3 人	

4. 資料の購入計画・実績一覧

分類	R3年度購入計画	R3年度購入実績	R2年度購入計画	R2年度購入実績	R元年度購入計画	R元年度購入実績	H30年度購入計画	H30年度購入実績	H29年度購入計画	H29年度購入実績	H28年度購入計画	H28年度購入実績	H27年度購入計画	H27年度購入実績	H26年度購入計画	H26年度購入実績	H25年度購入計画	H25年度購入実績	H24年度購入計画	H24年度購入実績	H23年度購入計画	H23年度購入実績
H・K (郷土資料)	15	4	10	14	20	4	20	10	10	8	20	11	20	5	10	12	20	27	10	25	20	30
O (総記)	50	58	60	83	60	73	60	70	60	67	60	70	60	65	60	68	60	78	60	63	60	70
1 (哲学・宗教)	70	90	90	93	100	107	90	96	100	103	90	95	90	88	100	101	90	97	90	115	90	104
2 (歴史・紀行)	175	189	210	209	220	224	210	243	220	240	220	219	210	212	220	232	220	242	150	215	250	236
3 (社会科学)	370	404	470	486	470	486	490	526	480	527	480	477	500	505	500	483	500	529	500	553	500	533
4 (自然科学・医学)	245	255	310	326	300	311	310	328	310	317	300	321	310	325	310	325	300	314	300	330	310	323
5 (家事・工学)	380	383	480	481	480	485	460	496	470	515	470	478	460	468	470	469	470	516	385	516	450	461
6 (産業)	170	176	220	217	210	204	220	233	210	216	220	212	220	236	210	231	220	241	185	205	180	184
7 (芸術・スポーツ)	310	294	390	385	390	385	380	414	390	393	390	409	390	409	390	396	380	397	380	405	390	400
8 (言語)	40	41	50	48	40	44	50	48	50	48	50	49	50	49	50	44	50	54	60	63	50	64
9 (文学)	940	928	1,170	1,149	1,170	1,198	1,120	1,180	1,140	1,161	1,140	1,193	1,080	1,125	1,080	1,087	1,080	1,127	1,110	1,253	1,070	1,130
一般書計	2,765	2,822	3,460	3,491	3,460	3,521	3,410	3,644	3,440	3,595	3,440	3,534	3,390	3,487	3,400	3,448	3,390	3,622	3,230	3,743	3,370	3,535
E (絵本)	1,140	446	1,430	569	1,430	560	1,480	617	1,460	672	1,460	540	550	614	550	562	550	545	620	628	600	600
J (児童)		678		924		964		948		895		903	950	931	950	1,000	950	1,075	1,020	1,012	910	985
P (紙芝居)	30	28	30	24	30	24	30	24	30	24	30	25	30	23	30	24	40	24	60	53	50	50
児童書計	1,170	1,152	1,460	1,517	1,460	1,548	1,510	1,589	1,490	1,591	1,490	1,468	1,530	1,568	1,530	1,586	1,540	1,644	1,700	1,693	1,560	1,635
D・V (視聴覚資料)	65	55	80	70	80	76	80	78	70	65	70	68	80	80	70	66	70	70	70	66	70	90
合計	4,000	4,029	5,000	5,078	5,000	5,145	5,000	5,311	5,000	5,251	5,000	5,070	5,000	5,135	5,000	5,100	5,000	5,336	5,000	5,502	5,000	5,260

寄贈図書受入冊数		323		404		1,008		384		510		523		361		346		613		769		536
除籍冊数		5,046		5,511		4,825		5,620		5,356		5,625		7,840		6,939		3,323		5,610		396
年度末蔵書冊数[冊]		121,433		122,127		122,156		120,828		120,753		120,348		120,380		122,724		124,217		122,083		121,422
図書購入予算額[円]		7,360,000		8,500,000		8,500,000		8,500,000		8,500,000		8,500,000		8,500,000		8,500,000		8,500,000		8,500,000		8,500,000
図書購入決算額[円]		7,359,862		8,499,906		8,496,643		8,496,604		8,494,908		8,499,948		8,499,996		8,499,930		8,499,976		8,499,784		8,499,940
雑誌・新聞・紙芝居等 購入決算額[円]		1,040,538		1,010,942		1,135,092		1,131,701		1,113,050		1,045,786		1,085,287		1,084,992		1,092,279		1,134,823		1,098,479

※R3年度の図書購入費の
360千円はコロナ対策費

*図書購入費・基本計画計上額 10,800,000 10,800,000 10,800,000 10,800,000 10,800,000

分類	H22年度購入計画	H22年度購入実績	H21年度購入計画	H21年度購入実績	H20年度購入計画	H20年度購入実績	H19年度購入計画	H19年度購入実績	H18年度購入計画	H18年度購入実績	H17年度購入計画	H17年度購入実績
H・K (郷土資料)	10	14	15	5	10	15	20	8	20	15	30	21
O (総記)	60	65	60	71	60	55	80	64	70	72	100	105
1 (哲学・宗教)	100	99	90	148	90	101	100	95	80	122	160	193
2 (歴史・紀行)	250	269	240	273	240	189	250	250	230	232	430	390
3 (社会科学)	520	555	530	527	550	447	540	593	470	671	710	875
4 (自然科学・医学)	310	336	320	308	340	300	290	400	270	306	370	426
5 (家事・工学)	445	521	420	489	390	457	350	458	320	420	540	500
6 (産業)	185	222	180	233	180	197	190	194	180	208	330	308
7 (芸術・スポーツ)	390	417	390	434	390	391	400	425	390	388	600	628
8 (言語)	50	49	50	56	60	46	50	70	50	63	90	70
9 (文学)	1,060	1,140	1,075	1,117	1,060	1,084	1,100	1,236	1,050	1,195	1,900	1,980
一般書計	3,380	3,687	3,370	3,661	3,370	3,282	3,370	3,793	3,130	3,692	5,260	5,496
E (絵本)	570	642	600	601	600	713	600	646	600	660	800	869
J (児童)	930	1,096	880	1,007	880	924	870	939	810	985	1,500	1,046
P (紙芝居)	40	30	50	24	50	28	60	63	60	53	90	72
児童書計	1,540	1,768	1,530	1,632	1,530	1,665	1,530	1,648	1,470	1,698	2,390	1,987
D・V (視聴覚資料)	80	71	100	100	100	73	100	98	100	200	150	208
合計	5,000	5,526	5,000	5,393	5,000	5,020	5,000	5,539	4,700	5,590	7,800	7,691

寄贈図書受入冊数	202	850	733	191	238	307
除籍冊数	506	651	736	694	1,499	1,398
年度末蔵書冊数[冊]	116,022	110,800	105,208	100,165	95,090	90,761

図書購入予算額[円]	8,500,000	8,600,000	8,500,000	9,000,000	9,000,000	15,000,000
図書購入決算額[円]	8,499,996	8,559,947	8,499,981	8,999,967	8,999,862	14,999,589
雑誌・新聞・紙芝居等 購入決算額[円]	1,418,506	1,357,051	1,358,000	1,360,406	1,484,647	1,453,637

*図書購入費・基本計画計上額	10,800,000	10,800,000	10,800,000	10,800,000	10,800,000	10,800,000
----------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------